2020年11月2日改正

投稿論文チェックリスト

＊投稿する前に原稿を点検確認し，原稿に添付して提出して下さい．下記項目に従っていない場合は，投稿を受領しないことがあります．

【投稿に関する確認事項】

　利益相反（COI）学会提出用のCOI申告書（様式1　自著署名）を筆頭著者に限らず共著者も含めて著者一名につき１枚を提出している.

＜様式１　本会 の学会 誌等で発表を行う著者の利益相反（ COI ）申告書 （JJNS は別様式）＞

　原稿の内容は他の出版物（国の内外を問わず）にすでに発表あるいは投稿されていない．

　インターネット上で全文公開されている内容は、すでに発表されたものとみなし、査読の対象とならないこと，したがって，機関リポジトリで全文公開されている学位論文は受理されないことを了承している．

筆頭著者は本会会員である．

ダブル・ブラインド体制（著者には査読者名および担当編集委員名を知らせないとともに査読委員にも当該論文の著者名を知らせない状態で査読を行う方式）で査読が行われることを了承している．

【原稿作成に関する確認事項】

　希望する原稿の種類と原稿枚数の規定を確認している．

　原稿枚数は本文，文献，図表を含めて投稿規程の制限範囲内である．

（図表はA4用紙1枚の大きさを1,000字とする）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 論文種目 | 要旨 | 本文，文献，図，表，写真  （約1,000文字/枚） | Key words  （和文／英文） |
| 論壇 | 和文抄録：400字  英文抄録：250words | 8枚以内 | 日本語・英語それぞれ5語以内 |
| 総説 | 12枚以内 |
| 原著論文 | 16枚以内 |
| 短報 | 4枚以内 |
| 資料 | 12枚以内 |

　論文原稿は以下の1.～5.の順で記述し，1つのファイルにまとめている．

1．論文題目（日本語・英語）　2．和文抄録・キーワード（日本語）　3．英文抄録・Key words（英語）

4．本文　 5．文献

　抄録には原則として，目的・方法・結果・結論の項目をつけ，それぞれにつき簡潔に述べている．

　和文抄録と英文抄録の内容はあっている．

　英文抄録はnative checkを受けている．　チェック者・機関名：

　人および動物が対象である研究は倫理的に配慮され，その内容が記載されている．

　原稿はA4判横書きで，1行35字，1ページ28行に記述しており，句読点は「，」または「．」で

統一されている．

見出しは，章（Ⅰ．・Ⅱ．・Ⅲ．…），節（1.・2.・3.…），項【1）・2）・3）…】，項の下は

【（1）・（2）・（3）…】で記載し，ゴシックで統一している．

　本文原稿右欄外に図，表，写真の挿入希望位置を示している．

　パラグラフ同士のつながりは明確である．

　誤字，人名のスペルミス，文献記載の不備等の誤りはない．

　わかりやすく簡潔で，読み手に確実に内容が伝わる文章で記述されている．

　主語は明確であり，2通りに解釈できる文章はない．

原稿は氏名・所属・倫理委員会名称（承認番号）・謝辞・利益相反・著者資格，ほか投稿者を特定できるような

事項を取り外してある．

【文献に関する確認事項】

　文献の種類による記載方法は原稿執筆要領に従っている．

　文献の情報は原典と相違ない．

　本文中の文献の引用では著者名，発行年次を括弧表示している．

　本文中の文献（著者，年次）と文献リスト内同文献の著者，年次が一致している．

　文献の共著者は3名まで表記し，アルファベット順，ついで刊行順に列記している．

【図表に関する確認事項】

図，表，写真の数が本文の引用と一致しており，本文原稿右欄外に挿入希望位置を示している．

　図・表・写真は1ページに1点として作成している（ページ番号は不要）．

　表は基本的に横線のみで表示し，縦線はすべて消している．

　数字は正の数，負の数に関わらず，同列内の小数点の位置，小数点以下の桁数（有効数字に応じて）を

そろえている．

　表中の数字が理論的に必ず1以下の場合（たとえば相関係数）は，0を付けずに「.52」のように

小数点以下のみで書いている．

以上